



野木町国際交流協会【NIA】

発行：野木町国際交流協会情報交流部 所在地：栃木県下都賀郡野木町丸林 571 野木町公民館内  
TEL 0280-57-4188 http://nogitown.hacca.jp/ MAIL wyamada@nifty.com

2024年10月10日発行

野木町の在留外国人の変化について

1990年代前半、野木町には多くの日系ブラジル人の方々が出稼ぎに訪れていました。当時、日本語教室にも多くの日系人が勉強に来ていました。しかし、近年では日系の学習者はほとんど見られなくなっています。この背景には、来日ビザの規制が厳しくなったことがあります。

具体的には、日本で働くことができるビザは日系三世までに限定されており、四世以降の方々には、年齢制限、家族帯同の不可、日本在住の保証人2名の確保など、非常に厳しい条件が課せられています。このような厳しい条件により、日本で働くことへの魅力が薄れ、来日する日系ブラジル人の数が減少しているのです。

しかし、ブラジル国内では、かつて日本の学校で学んでいたものの、リーマンショックの影響で両親と共に帰国した日系四世の若者が、今では二十歳を過ぎ、日本で再び働きたいと希望するケースが増えていると言われています。彼らは日本での生活や文化にある程度なじみがあるため、日本での就労を強く望んでいるのです。一方、日系人の減少に伴い、東南アジアからの技能実習生が日本に多く来るようになり、日本語教室が技能実習生で埋まることもありました。最近では、技能実習生に加えて、日本語学校に通う留学生として来日した人たちが日本企業で就職し居を構え家族を呼びよせたり、経営管理ビザで来日して家族を呼びよせるケースが増加しています。こうした状況は、日本の労働市場や教育現場に新たな課題と可能性をもたらしています。日本全国における外国人子弟の学習状況についても注目が集まっています。朝日新聞の報道によれば、「在留外国人の数が増加する中で、彼らの子どもたちに対する日本語教育の重要性がますます高まっています。

特に、公立の小中高校に在籍する児童生徒の中で、日本語指導が特に必要とされるケースが増加しているのです。

2023年度には、こうした日本語指導が必要な児童生徒数が過去最多の69,123人に達し、これまでの記録を更新しました。その内訳を詳しく見ると、小学校では46,132人(66.7%)、中学校では15,967人(23.1%)、高校では5,572人(8.1%)が日本語指導を必要としています。

このような状況に対応するため、教育現場ではより一層のサポート体制と柔軟な指導方法が求められています。

例えば、多言語対応の教材や日本語教師の増員、文化的背景に配慮した授業運営などが必要です。

| 内訳 |        |     |
|----|--------|-----|
| 大人 | ベトナム   | 3名  |
|    | インドネシア | 5名  |
|    | スリランカ  | 4名  |
|    | ネパール   | 2名  |
| 児童 | パキスタン  | 3名  |
|    | ベトナム   | 1名  |
|    | スリランカ  | 1名  |
| 合計 |        | 19名 |

また、地域社会やボランティア団体の協力も欠かせません。言語の壁を越えて、すべての子どもたちが安心して学ぶ環境を整えることは、日本社会全体の課題であり、未来への重要な投資となるでしょう。」

教育の面から考えると、異なる言語・宗教や文化的背景を持つ子どもたちが増えていくことにより、学習環境がますます複雑化していくことが予想されます。そのため、学校現場だけでなく、地域社会全体で彼らを支える体制を整えることが不可欠です。

日本の多文化共生社会の実現には、こうした取り組みが重要な役割を果たすでしょう。



## 生涯学習課との協働講座

- 生涯学習課と当協会が協働して開催する講座「動画で学ぶ英会話」の第5弾、スリランカ編が10月23日からスタートします。この講座は、英会話を楽しみながら異文化理解を深めることを目的としており、毎回異なる国や地域を取り上げています。



今回のテーマであるスリランカは、旅行先としてはあまり馴染みがないかもしれませんが、日本とは第二次世界大戦後の国際会議や経済協力を通じて深い関係を築いてきました。たとえば、1951年のサンフランシスコ平和条約においてスリランカは日本に対し寛大な立場を表明し、その後の友好関係に繋がっています。

スリランカは、美しい自然や豊かな歴史を持つ国で、数多くの世界遺産を誇ります。古代都市ポロンナルワや仏教遺跡で知られるシーギリヤ、さらには聖地キャンディなど、一度は訪れる価値のある場所がたくさんあります。これらの遺産はスリランカの豊かな文化と歴史を物語るっており、旅行者にとっても大変魅力的です。

この講座では、スリランカ旅行を想定したシナリオを通じて、旅行先で使える実用的な英会話を学びます。観光地での会話や、現地の文化に触れながら使える表現など、具体的なシチュエーションを想定して進めており、スリランカについての知識も同時に深めることができる内容となっております。

## じ かい 次 回 の お 知 ら せ



来年の2月には、次の訪問先としてネパールを予定しております。現在、当日本語教室には二人のネパール出身の主婦の方が通っており、日本語の勉強に励んでおります。彼女たちは熱心に学習し、私たち日本人にとっても多くのことを教えてくれます。

日本人にとってネパールは、まだあまり知られていない、まるでベールに包まれた国のように感じられることが多いですが、今回の訪問を通じて、その文化や人々との交流を深めたいと考えています。

## 2 「野木町煉瓦窯を英語で学んでみよう」

9月21日から4回にわたり行います。

この講座は、国指定重要文化財および近代化産業遺跡群に指定されている「野木町煉瓦窯」について、訪日観光客向けの英語によるガイドを行うための講座です。受講者は、煉瓦作りに必要な基本知識や煉瓦窯の構造・操作方法を、日本語と英語の両方で学びます。特に、英語でのガイド方法に重点を置き、表現のエッセンスやコツを幅広く学ぶことができます。

また、受講生が理解しやすい、シンプルで正確な表現方法を学びながら、ガイドとしての実践的なスキルを身につけます。講座終了後には、参加者全員が実際の訪問者に対して英語でガイドを行えることを目指し、楽しく煉瓦窯を体験できる内容になっています。



## オープンクラス

私共の日本語教室では、初級から上級まで様々なレベルの学習者のニーズに合わせた指導を心がけています。

この度、10月13日（日）に、当協会の活動を広く知っていただくために、オープンクラスを開催する運びとなりました。このオープンクラスでは、普段の授業の様子を実際にご覧いただける機会を設け、興味をお持ちの方やこれから日本語を学びたいと考えている方に、教室の雰囲気を経験していただけます。

見学可能な時間は、当日の午前9時半から11時までとなっております。予約は不要です。日本語学習に興味のある方、また外国人の日本語教育に関心をお持ちの方は、ぜひこの機会にお気軽にお越しください。スタッフ一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



## 当協会のホームページ



ホームページをリニューアルしました！新しいドメインは「nogimachi.com」です。これにより、より見やすく、使いやすいデザインになっています。

すべての記事は、フロントページにあるメニューバーから簡単に検索できるようになっていますので、ぜひご活用ください。さらに、ホームページの更新情報については、フロントページの下部にあるブログ記事にて随時お知らせしております。今後も、新しいコンテンツや情報をどんどん追加していきますので、ぜひ定期的にチェックしていただくと嬉しいです！

本誌をご覧いただき、誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に応えられるよう、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。